

2025 年 4 月 4 日

各 位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社



株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループが発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(以下 同社)が発行するグリーンボンド⁽¹⁾(11NC10⁽²⁾、165 億円、以下本社債)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェントを務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

同社はグリーンボンドの発行にあたり、2024 年 3 月、MUFG 本館⁽³⁾建設関連資金を資金使途とした「グリーンファイナンスフレームワーク」(以下 本フレームワーク)を策定しました。本フレームワークは、国際資本市場協会(ICMA)による「グリーンボンド原則 2021 (GBP)」と、ローンマーケットアソシエーション(LMA)、アジア太平洋地域ローンマーケットアソシエーション(APLMA)、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション(LSTA)による「グリーンローン原則 2023 (GLP)」との整合性に関するセカンド・パーティ・オピニオンを第三者評価機関である株式会社日本格付研究所(JCR)より取得しています。

本社債の発行により調達された資金は、同社の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行に対する融資を通じて、MUFG 本館の建設関連資金に充当される予定です。

MUFG 本館は、LEED®認証⁽⁴⁾をはじめとする認証制度の取得を目指しており、SDGs やカーボンニュートラルへの対応として、持続可能な社会の実現や環境負荷の低減に積極的に貢献する建築計画となっています。

2006 年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金使途とするトランジションボンドの普及が進んでいます。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名称	株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ第 14 回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)(グリーンボンド)
発行年限 (ノンコール期間)	11 年(10 年)
発行額	165 億円
利率	2035 年 4 月 11 日まで 1.881%、翌日以降 6 ヶ月 日本円 TIBOR+0.594%
発行日	2025 年 4 月 11 日
償還日	2036 年 4 月 11 日
資金使途	全額を連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行への貸出を通じて同社本館の建設関連資金への新規または既存の資金に充当予定
取得格付	AA-(株式会社格付投資情報センター)、AA(株式会社日本格付研究所)
主幹事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
ストラクチャリング・ エージェント	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

(1) グリーンボンドとは、国際資本市場(ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券

(2)満期 11 年、期限前償還が可能になるまで 10 年の社債

(3)MUFG 本館については下記リンクをご参照ください。

<https://www.sc.mufig.jp/company/news/000022083.pdf>

(4)米国グリーンビルディング協会 USGBC®(U.S Green Building Council)が開発・運用し、GBCI(Green Building Certification)が審査する認証制度。

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定／SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上